

自治連たより No. 34

2011.5. 25

発行責任 六会地区自治会連合会役員会
六会市民センター地域経営担当
電話 81-6677

子ども用自転車20台 山元町へ



出典 (株)ゼンリン

この度は、東日本大震災において被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。自治会連合会・社会福祉協議会・地域経営会議は、3月15日より六会地区としての支援募金を市民センターで受け付ける事といたしました。

集まった支援募金について、単なる義援金ではなく被災者の方々にとって役に立つお金の使い方は何かと検討する中で、藤沢市の防災対策や六会地区のポータルサイトをご指導いただくなどのご縁もあり、災害発生直後から被災地の状況調査を行っていた独立行政法人防災科学技術研究所に相談をしたところ、宮城県の社会福祉協議会を紹介いただきました。

そこで、同じ県で被災し、なかなかニュースなどで取り上げられる事のない、小さな町なのですが、ぜひ六会地区のお力を貸して欲しい所があるとのお話を受け、4月9日～10日、宮城県亘理郡山元町へ状況をお伺いしに行ってきました。

山元町は、仙台市から海沿いに南下した福島県との県境に近い宮城県南部の町です。(詳しくは、上記地図参照)

裏面へ

海岸に近い2つの小学校は完全に、津波にのみ込まれ、無残な姿が残っていました。

しかし、学校屋上に設置された津波シェルターのおかげで子ども達にけが人さえ出なかったとお話を伺い、ほっといたしました。

色々お話を伺う中で、震災の影響で新学期が4月25日から始まるとのことでしたが、被災して学校から遠方で避難生活をしている子ども達が通学用に使う自転車が必要である事が分かりました。



被災後の山元町



現地に到着し、自転車を降ろす様子

大人用の自転車は支援物資として何台か届いたそうですが、子供用は1台も無く、通学の安全を図るためにも、整備の整った物が欲しいとの事でした。

被災地の方々と顔の見えるような関係を持ちながら、必要としているものを送る事に使ってこそ、支援募金を寄せていただいた六会地区の皆様にご理解がいただけるものと考え、早速自転車の寄贈に向け動き出しました。六会の井上輪業さんのご協力をいただき、子供用自転車を20台購入し、4月19日の

朝に現地へ運び、自転車の調整を行った後に寄贈をしました。

山元町さんからは「勝手に言って、欲しいものをお願いしただけでも申し訳ないのに、本当にありがたく思います。こんな時だからこそ、欲しいものをいただけるありがたさを強く感じます。地域の皆様にはよろしくお伝えください。」と連絡がありました。

今後も六会地区では支援金を募っていきます。よろしくお願い致します。

ホームページを開設しました！

2011年（平成23年）4月1日より、六会地区ポータルサイトが開設しました。同日、六会地区自治会連合会のホームページが開設いたしましたので、今後はホームページにも自治連の活動等を掲載してまいりますのでよろしくお願いいたします。

六会地区ポータルサイト

<http://fujisawa-mutsuai.ecom-plat.jp/>

六会地区ポータルサイト

検索